✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　新予報技術講習会「季節予報コース」を開講しました

平成 24 年 6 月 13 日(水)午後に新予報技術講習会「季節予報コース」を開講しました。新予報技術講習会は気象技術の最新動向を、気象庁の担当官に解説していただくことで、気象予報を利用される一般の方や気象予報を業務として活用される気象会社や予報士の方を対象に毎年開講しています。

今年のテーマは「季節予報と 2010 年平年値について」で、気象庁地球環境・海洋部気候情報課大久保予報官に解説していただきました。第 1 部では季節予報のしくみをポイントを押さえて解説いただき、第 2 部では１か月、３か月予報、異常天候早期警戒情報などの気候情報の特性と扱いについて解説し、第 3 部では平年値の変更に伴う長期予報への影響について概説いただきました。

遠くは宮城県や大阪からも参加された 14 名の方は熱心に話を聞き、活発な質問で講師からより詳しい解説を引き出していました。

例えば、現在の予測モデルではエルニーニョ、ラニーニャの終わり予想は良いが、次の始まり予想はまだまだであるとか､3 か月予報での特に後半では海面水温の変化の取り扱いに悩むとか、次期モデルでは 60km メッシュとなるので、その成果に期待したいなど、一段と掘り下げた解説となりました。

次回の新予報技術講習は来年 2 月に数値予報講習を予定しています。